

Nordic Market Biweekly Report

情報提供資料

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

2015年4月21日

★為替・金利の動向

対円レート推移

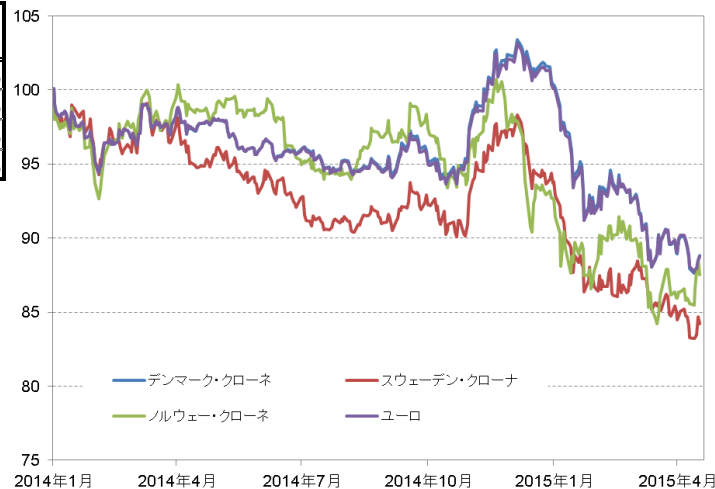
(2015年4月3日～2015年4月17日) ※単位は円

	4月3日	4月10日	4月17日	期間中騰落率
ノルウェー・クローネ	14.98	14.84	15.18	1.3%
スウェーデン・クローナ	13.91	13.63	13.77	-1.0%
デンマーク・クローネ	17.47	17.06	17.22	-1.4%
ユーロ(フィンランド)	130.54	127.49	128.49	-1.6%

北欧4か国通貨は、ノルウェー・クローネが上昇する一方、その他通貨は下落しました。欧州中央銀行(ECB)の資産購入プログラム進行による金利低下を受け、北欧4か国通貨は下落しました。しかし、上記期間中後半に発表された、米経済指標の内容が不振だったことに加え、生産調整への期待から、原油価格が持ち直したこともあり、ノルウェー・クローネは反発し、その他通貨も下げ幅を縮小しました。

対円レート推移

(2014年1月1日～2015年4月17日)
※2013年末を100として指数化



出所: ブルームバーグデータをもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

銀行間取引金利3カ月物推移

(2015年4月1日～2015年4月17日) ※単位は%

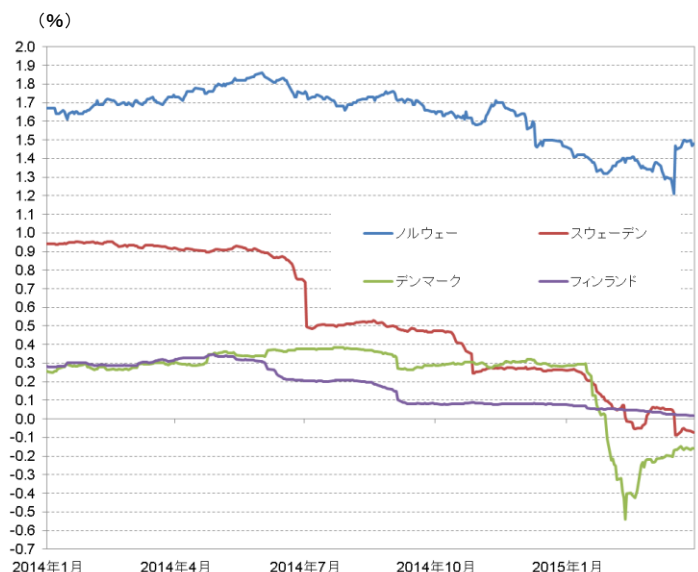
	4月1日	4月10日	4月17日	期間中変動幅
ノルウェー	1.480	1.430	1.510	0.030
スウェーデン	-0.073	-0.105	-0.135	-0.062
デンマーク	-0.160	-0.155	-0.188	-0.028
ユーロ圏(フィンランド)	0.018	0.012	0.001	-0.017

上記期間中の銀行間取引金利は、ノルウェーで上昇する一方、スウェーデン、デンマーク、ユーロ圏の各地域では低下しました。

ECBのドイツ国債購入により、ドイツ国債利回りは9年債までがマイナス利回りになる事態となりました。これを受け、自国通貨高を防止すべく、マイナス金利を導入していたスウェーデン、デンマークでは金利の更なる低下が進行しました。一方、ノルウェーでは原油価格の持ち直しや、上記期間中に発表された経済指標が良好な内容となったことから、追加利下げへの期待が後退し、銀行間取引金利はやや上昇しました。

銀行間取引金利3カ月物推移

(2014年1月2日～2015年4月17日)



出所: ブルームバーグデータをもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年4月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

Nordic Market Biweekly Report

情報提供資料

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

2015年4月21日

☆ノルウェー、スウェーデンのマクロ経済見通し

主要地域経済指標実績と見通し(2013年～2016年)

- ノルウェーのGDP成長率は、原油価格下落を背景に下方修正されるも、総じて、ユーロ圏より堅調となる見通しです。
- ノルウェー雇用市場は引き続き堅調に推移することが予想され、失業率の上昇は小幅な水準に留まる見込みです。その他の国、地域では緩やかな改善を予想しています。
- ノルウェー、スウェーデンでは、主要通貨に対する自国通貨安誘導により、インフレ率は各中銀のターゲット近辺、あるいは大幅にかい離することなく推移する見込みです。

		2013年	2014年(予測)	2015年(予測)	2016年(予測)
GDP成長率	ノルウェー	0.60%	1.70%	1.20-1.50%	1.70%
	スウェーデン	1.50%	2.10%	2.80%	3.10%
	ユーロ圏	-0.40%	0.80%	1.10%	1.70%
	米国	1.88%	2.20%	3.10%	3.00%
失業率	ノルウェー	3.40%	3.40%	4.3-4.4%	4.3-4.4%
	スウェーデン	8.00%	8.00%	7.50%	7.30%
	ユーロ圏	11.90%	11.90%	11.10%	10.80%
	米国	7.40%	7.40%	5.60%	5.30%
インフレ率	ノルウェー	2.10%	2.10%	2.20%	2.40%
	スウェーデン	0.00%	-0.10%	0.80%	1.50%
	ユーロ圏	1.30%	0.50%	0.60%	1.00%
	米国	1.50%	1.70%	1.40%	2.00%

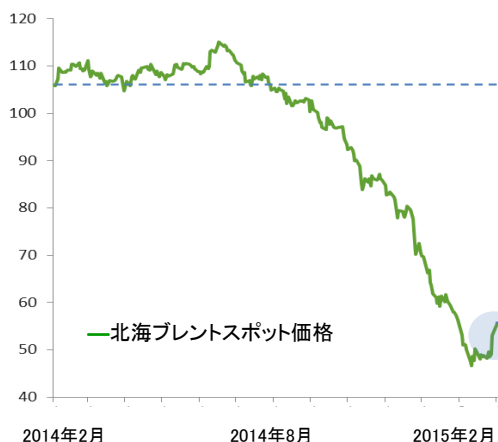
※ 上記の予測は将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません

出所)アルフレッド・バーグ

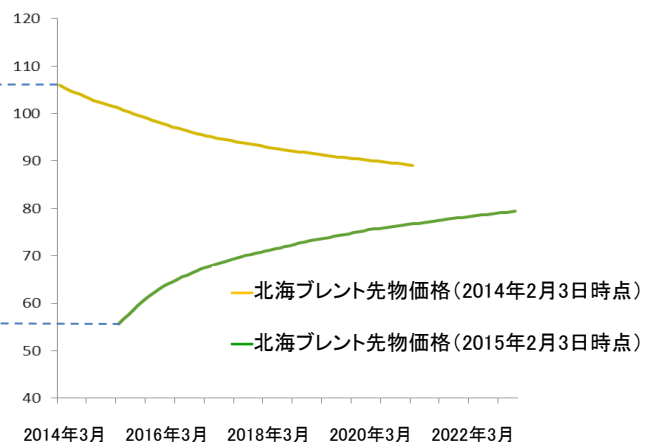
☆原油価格見通し(北海ブレント)

- 原油価格の下落は原油需要の拡大を促すと同時に、原油採掘企業にとっては生産を抑制する要因となります。このような需給のアンバランスは、原油価格の上昇要因となることから、原油価格は今後、緩やかに上昇していくものと考えられます。
- 2014年2月3日時点の北海ブレント先物カーブと2015年2月3日時点の同先物カーブの比較によると、将来的な原油価格の上昇を市場は織り込みつつあると考えられます。

北海ブレントスポット価格推移
(米ドル/バレル) (2014年2月3日～2015年2月3日、日次)



異なる二時点での北海ブレント先物カーブの比較
(米ドル/バレル) (2014年2月3日時点と2015年2月3日時点)



※ 上記の予測は将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません

出所)アルフレッド・バーグ



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年4月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。